

エンジェルスアーチ

子どもやアスリートの重篤事故を防止するために！ vol.2

『事例に学ぶ！熱中症重篤状態に至るか否かの重要視点と対処方法』

子どもたちの事件、事故を防ぐために、
医学界、産業界、教育界などさまざまな各専門分野を繋ぎ、社会全体で連携して
子どもを守る活動に取り組みます。

日時 平成29年4月22日(土) 14:30~17:00(開場14:00)

参加申し込みが必要です。

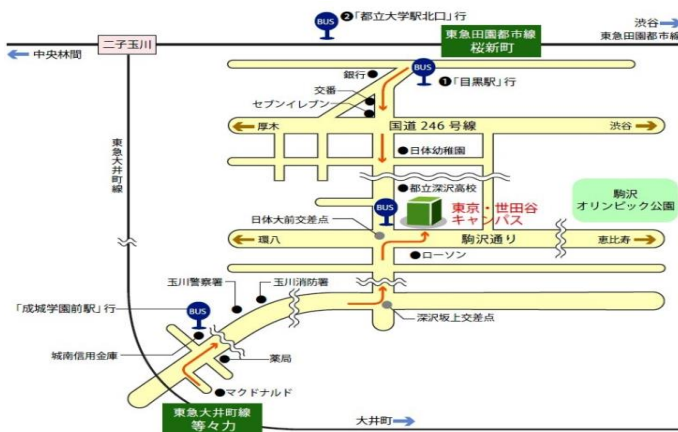
TELまたはFAX、メールにてお名前、所属先、連絡先(任意)をご連絡ください。

事前申し込み先：日本体育大学スポーツ危機管理学研究室 南部

TEL&FAX [045-479-7115](tel:045-479-7115)

e-mail nambu3@nittai.ac.jp

主催 日本体育大学スポーツ危機管理学研究室



【会場】 日本体育大学世田谷キャンパス
教育研究棟2階 2204教室

【所在地】 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1
TEL: 03-5706-0900

【最寄駅】 東急田園都市線
桜新町駅より徒歩15分、バス5分
東急大井町線
等々力駅より徒歩25分、バス10分



永島計教授

早稲田大学人間科学学術院教授

京都府立医科大学付属病院研修医、修練医、Yale大学医学部ポスドク、王立ノースシェア病院オーバーシーフェロー、大阪大学医学部講師を経て2004年4月から現職。博士(医学)京都府立医大。研究内容：人、実験動物における体液量および体液組成の調節機構の解析。体温に関わる調節機構およびそのリズム形成のメカニズムの解析。温度感覚(暑さ、寒さ、冷え)のメカニズムの研究とそれに関わる疾病の治療、予防法の開発。老人の体力維持増進プログラムの開発、性差の生理学。



「日本体育大学准教授・横浜市立大学客員准教授

児童虐待の研究で修士(法学)・博士(医学)取得。
横浜市立大学医学部医学科法医学教室助教を経て現職。
児童の身体的虐待の研究の一環として頭部外傷の生体力学的研究を行い、柔道事故における急性硬膜下血腫の発症機序や医学的証明に関する論文多数。
インターネットからダウンロード可能な「部活動の安全指導～先生方に心がけて頂きたいこと～」は、全国の教育委員会や学校、スポーツ施設などのテキストとして多く採用されている。日本体育大学で2016年より、学校・部活動事故の被害者を講師として迎える「学校・部活動における重大事件・事故から学ぶ研修会」を開催。メディアの注目を集めている